MTX-70P 汎用ネットワークパネル

MTX-70P GENERAL PURPOSE NETWORK PANEL



このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。 安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説別書を必ずお読みください。



この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1)電源プラグ、コードは

- ・定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2)本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を 停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに 電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3)修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

4)その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめて から行ってください。
- ・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1)機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。 また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2)外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクターの故障の原因になります。 マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。 また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。 安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。 期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
 なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。
 - (1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
 - (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
 - (3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
 - (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
 - (5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。
- ② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、 以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

------ 目 次 ------

この製品を安全にご使用いただくために
保証規定
1. 概 説
《特 長》
2. 機能チェック
1. 構 成
2. POWERON までの手順
3. 基本動作チェック(ネットワーク接続) 3
3. 各部の名称と働き
4. 操作方法
5. トラブルシューティング
6. 仕 様
1.機 能
2定格16
3.性 能
7. 外形図

1. 概 説

MTX-70P-NWはMTX-70H-7272、MTX-70U-3232、MTX-70U-1616、MTX-70-1616HB、MTX-70-168HB、 MTX-70-88HB 、MTX-70-44HB(以下、「マトリックススイッチャー」とします)対応のSNMP経由で制御が行える MTX-70P 汎用ネットワークパネルです。

《特長》

- ●漢字表示可能なボタンによるマトリックススイッチャー操作※1
- ●ネットワーク接続では同一の対応マトリックススイッチャーに MTX-70UP-321,161 と混在可能※2
- ●SNMP によるネットワーク経由の制御※3
- ●10/10 個の入力ソース/出力ボタンによるクロスポイント切り替え
- ●マトリックススイッチャーのプリセットの読み出しが可能
- ●ボタンの消灯、点滅により入力信号が無くなったことを伝える、入力信号モニター機能
- ●1 台の Vbus 筐体に対し同一ネットワークから 20 台以上の MTX-70P-NW、MTX-70UP-321,161 を接続可能※4
- ●入力ソースボタンを任意の並びに設定できるカスタム入力ソースボタンページ機能
- ●ネットワーク接続モードでは同一機種、同一設定のマトリックススイッチャーを4台まで制御可能
- ●MTX-70H-7272とは BNC ケーブルにより3台までのカスケード接続が可能※5
- ※1 詳細は各マトリックススイッチャーの取り扱い説明書を参照してください。
- ※2 詳細はMTX-70UP-321,161の取り扱い説明書を参照してください。
- ※3 SNMPで機能を実現しているため出力CHによってクロスポイント切り替えタイミングに数フレームのずれが生じます。
- ※4 検証済み24台、ネットワークの状況により変動します。
- ※5 本書ではネットワーク接続での使用方法を記載しています。MTX-70H-7272とのBNCケーブル接続については MTX-70H-7272の取り扱い説明書を参照してください。

1.構成

[MTX-70P-NW]

番号	品名	型名·規格	数量	記事
1	MTX-70P 汎用ネットワークパネル	MTX-70P-NW	1台	
2	電源ケーブル	2m	1本	
3	マウントビス	5mm	4本	
4	取扱説明書		1部	本書

2. POWERON までの手順

- (1) 電源ケーブルを本体に正しく接続します。
- (2) 電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3) 筐体および本体背面の電源スイッチをONIこします。
- (4) 本体正面のスイッチに機種名、ソフトウェアバージョン、接続モードが表示されます。
- (5) フロントパネルのSTATUS LEDが赤色に点滅します。(未接続、未設定の場合)
- (6) 確認が出来たら電源を切ってください。

3. 基本動作チェック(ネットワーク接続)

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。正常に動作しない場合は「5.トラブルシューティング」を参照してください。対応する制御対象のマトリックススイッチャーは正しくVbusの設定された筐体のネットワーク設定が完了してwebサーバーの動作が確認できているものとします。

- (1)本機、マトリックススイッチャーが実装されている筐体、webブラウザ(Google Chrome推奨)の動作するPC をネットワークに接続し電源を投入します。ネットワーク接続モードで本機を動作させるため、本機の電 源投入時は入力ページボタン▶をピー音が鳴るまで押し続けてください。入力ページボタンを離すと出力 ボタンに「NET MODE」と表示されます。以降通常の電源投入でネットワーク接続モードで起動します
- (2)簡易メニューを使用してご使用のネットワークに従ったIPアドレスを設定し電源を再投入します。
 再投入後、IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。
 IPアドレスの設定と確認は【4.操作方法 (8)簡易メニューについて】の章を参照してください。
- (3) PCのwebブラウザから本機のwebサーバーにアクセスします。URL欄に「http://設定した本機のアドレス」 と入力します。本機のWebサーバーの機能については【4.操作方法(7)MTX-70P-NWのネットワーク設定 について】を参照してください。 メインメニューの「ネットワーク設定」をクリックし「ローカルIPアドレス」に(2)で設定したものが表示される 事を確認してください。
- (4)メインメニューの「コントロールモジュール設定」をクリックします。「コントロールモジュール」のドロップダウンリストから制御の対象とするマトリックススイッチャーの機種を選択します。 「メインコントロールモジュール」に制御対象のVbus筐体のIPアドレス、マトリックススイッチャーを設定したスロット番号を設定します。「サブ1~3コントロールモジュール」はIPアドレスの最初のオクテットに0を設定し「設定」をクリックします。
- (5)本機と制御するマトリックススイッチャーの通信が確立するとSTATUS LEDが緑色に点灯します。

3. 各部の名称と働き





図 3.1 MTX-70P-NW 正面図/背面図/側面図

(1)入力ページボタン

入力ソースボタンを表示するページを選択します。ページのUP/DOWNで操作したいボタンを含むページを表示します。また、現在表示しているページ番号を表示します。

入力ページボタンを押しながら、電源を投入するとBNCケーブル接続モード(MTX-70H-7272のみ)とネットワーク接続モードを切り替えることができます。【4.操作方法 (6)電源投入時設定】の章を参照してください。

(2)入力ソースボタン 1~10

入力ソースを選択するボタンです。SDI IN1~n(対象とするマトリックススイッチャーの機種とその設定によりnは可変です)に入力している信号に対応します。デフォルトで1~nの数字が表示されます。

入力ソース毎に任意の漢字を表示させることができます。入力ソースを検出できないとき、ボタンのバッ クライトが消灯します。【4. 操作方法 (4)入力信号モニター機能】の章を参照してください。

入カソースボタンを押しながら、電源を投入すると電源投入時設定を行います。【4.操作方法 (6)電源投 入時設定】の章を参照してください。

入力ソースボタンを押しながら、パネルロックスイッチをOFFにすると、プリセットパターンの切り替えを行います。【4.操作方法 (3)プリセット切り替え】の章を参照してください。

(3)出力ページボタン

出力ボタンを表示するページを選択します。ページのUP/DOWNで操作したいボタンを含むページを表

示します。また、現在表示しているページ番号を表示します。UP/DOWNの同時長押しで簡易メニューを 起動します。【4.操作方法 (8)簡易メニューについて】の章を参照してください。

(4)出力ボタン 1~10

出力先(ディスティネーション)を選択するボタンです。SDI OUT1~nの端子に対応します。

デフォルトで1~nの数字が表示されます。クロスポイントの状態が表示されており、SDI OUT1~nに割り 当てられている入力ソースが確認できます。また簡易メニューにも使用されます。

出力先(ディスティネーション)の設定方法については【4.操作方法 (1)クロスポイントの変更方法】、簡易 メニューについては【4.操作方法 (8)簡易メニューについて】の章を参照してください。

出力ボタンを押しながら、パネルロックスイッチをONにすると、入力信号モニター機能の設定、入力 INHIBIT設定を行います。【4.操作方法(4)入力信号モニター機能】および【4.操作方法(5)入力INHIBIT設 定】の章を参照してください。

(5)STATUSランプ

MTX-70P-NWが操作可能な状態の時、緑色に点灯します。

赤色点滅時は、操作ができません。接続に問題が無いか確認してください。また、I/Oモジュールとコン トロールモジュールが正しく接続できていない時にも赤色点滅します。【5. トラブルシューティング】を参 照してください。

緑色点滅時は、MTX-70P-NWがマトリックススイッチャーからボタンの表示データ受信している時です。 電源起動時や、通信ケーブルを抜き差しした時、この状態になります。この時、パネルの操作はできま せん。

ネットワーク接続時は緑点滅が低速の場合は他のMTX-70P-NWがボタン表示データを受信中で待ち状態の時です。他のMTX-70P-NWの受信が終了すると自動的に受信が始まります。

(6)LOCALランプ

橙色点灯時、手動でクロスポイントの変更が可能です。消灯時はクロスポイントの手動操作が無効です。

(7)REMOTE/LOCAL切り換えスイッチ

REMOTE、LOCALの有効、無効の設定ができます。REMOTE、LOCALどちらも有効、無効の設定が可能で、4通りの組み合わせがあります。

この操作はメインコントロールモジュールとしてネットワーク接続しているすべてのパネルに連動します。 シーケンスモードがONの時、REMOTE ONでシーケンスモードが動作します。

(8)REMOTEランプ

緑色点灯時、リモートでクロスポイントの変更が可能です。消灯時はクロスポイントのリモート操作が無 効です。

(9)パネルロックスイッチ

MTX-70P-NWの操作を禁止します。この操作はカスケードやネットワーク接続しているその他のパネル に連動しません。

パネルロック状態で入力ソースボタンを押しながらパネルロックスイッチをOFFにするとプリセットを読み 出します。【4.操作方法 (3)プリセット切り替え】の章を参照してください。

また、出力ボタンを押しながら、パネルロックスイッチをONにすると、入力信号モニター機能の設定、入 カINHIBIT設定を行います。【4.操作方法(4)入力信号モニター機能】および【4.操作方法(5)入力INHIBIT 設定】の章を参照してください。

(10)ラックマウントねじ取り付け穴

ラックマウントする際に使用します。

(11)PANEL INコネクター

ネットワーク接続モードでは未使用です。

(12)PANEL OUTコネクター

ネットワーク接続モードでは未使用です。

(13)電源ケーブル固定金具

電源ケーブルの抜け防止です。運用時は、必ず電源ケーブルを固定してお使いください。

(14)10/100BASE

SNMP 制御用の10/100BASE LAN コネクターです。制御対象のネットワーク接続に使用します。

(15)パワースイッチ

電源スイッチです。

(16)ヒューズホルダー

ヒューズホルダーの下部に引出口があり、マイナスドライバーを使用してヒューズホルダーを引き出すこ とができます。ヒューズホルダーの中には予備ヒューズが一個装着されています。

(17)ACインレット

電源ケーブルを接続します。

4. 操作方法

MTX-70P-NWはMTX-70シリーズのマトリックススイッチャーと組み合わせて使用するMTX-70P 汎用ネットワーク パネルです。(対応機種は【表4.1 対応するマトリックススイッチャーと設定による入出力、設定可能プリセット数】を 参照してください。)

MTX-70P-NWはキートップに漢字表示が可能で、パネル上でクロスポイントの設定が一目瞭然です。 MTX-70P-NWはマトリックススイッチャーとの接続にネットワーク接続モードとBNCケーブル接続モード (MTX-70H-7272のみ)があり、ネットワーク接続モードでは同ーネットワーク内で20台以上の接続をサポートしま す。

対応するマトリックススイッチャーとその設定による入出カチャンネル数、カスタム入力ソースボタンページ機能未 使用時の設定可能プリセット数は以下の表を参照してください。

	PAIRING設定								
マトリックススイッテヤー	NORMAL		QUAD			DUAL			
一 一 一	入力	出力	プリセット	入力	出力	プリセット	入力	出力	プリセット
MTX-70H-7272	72	72	30	18	18	20	36	36	30
MTX-70U-3232	32	32	16	8	8	10	16	16	16
MTX-70U-1616	16	16	16	4	4	10	8	8	10
MTX-70-1616HB	16	16	16	4	4	10	8	8	10
MTX-70-168HB	16	8	16	4	2	10	8	4	10
MTX-70-88HB	8	8	10	2	2	10	4	4	10
MTX-70-44HB	4	4	10	Ι	-	-	-	-	-

表4.1 対応するマトリックススイッチャーと設定による入出力、設定可能プリセット数

(1) クロスポイントの変更方法

クロスポイントの切り替え操作には下記の4通りの方法があります。

- ① 入力ソースボタンを押してから出力ボタンを押す。(IN先→OUT後)
- ② 出力ボタンを押してから入力ソースボタンを押す。(OUT先→IN後)
- ③ 出力ボタンを押しながら、複数の入力ソースボタンを順番に押す。(OUT固定→IN連続選択)
- ④ 出力保持モードで、複数の入力ソースボタンを順番に押す。(OUT固定→IN連続選択)

複数の入力ソースの内容を素早く確認したい場合は、③または④の方式が有効です。

上記すべてのケースで、入力INHIBIT設定されている入力ソースは割り当てできません。

【出力保持モードについて】

出力ボタンの選択状態の保持/解除の切り替えができます。

ON … 出力ボタンの選択状態が保持されます。

選択されている出カボタンに対して入カソースボタンを反映します。出カボタンの選択状態を保持してい る為、連続して入カソースボタンの切り替えが可能です。

OFF … 出力ボタンの選択状態が解除されます。 クロスポイント切り替え操作後や、入力ソースボタンまたは出力ボタン選択状態でパネルのボタン無操作 状態が続くと、入力ソースボタン、出力ボタンの選択状態が解除されます。選択したボタンの選択状態が 解除される為、次のクロスポイント切り替え操作を行う際は再度いずれかのボタンの選択が必要です。 (2) REMOTE/LOCAL 設定

REMOTE/LOCA切り換えスイッチの操作で、出力チャンネル毎に下記の4通りの操作制限を行うことができます。この操作は同一のメインコントロールモジュールとしてネットワーク接続しているすべてのパネルに連動します。 ただし、いずれの設定においても本体のメニュー操作によるクロスポイントの直接操作は有効です。

- ① REMOTEランプが消灯している出力チャンネルは、RS-422制御、GPI-70Bによる接点制御が全て無効になり ます。SNMP設定が REMOTEの時は、SNMPによるネットワーク制御も無効になります。
- ② LOCALランプが消灯している出力チャンネルは、リモートパネルによる操作が無効です。SNMP設定が LOCALの時は、SNMPによるネットワーク制御も無効になります。
- ③ REMOTEランプ、LOCALランプが消灯している出力チャンネルは、クロスポイント変更禁止です。
- ④ REMOTEランプ、LOCALランプが点灯している出力チャンネルは、全ての操作方式が有効です。
- ※マトリックススイッチャーのメニュー設定でRS-422制御の禁止、及びSNMPによる設定変更の禁止設定を 行っている場合は、リモートパネル上でREMOTE/LOCALの設定を有効にしても、RS-422、SNMPによる 制御は無効です。
- (3) プリセット切り替え

パネルロックスイッチをONにし、入力ソースボタンを押しながら、パネルロックスイッチをOFFにすると、プリセット パターンの切り替えができます。切り替え可能なプリセット数は【表4.1 対応するマトリックススイッチャーと設定に よる入出力、設定可能プリセット数】を参照してください。

入力ソースボタンのチャンネルが、切り替えるプリセット番号になります。

正常に読み込まれた場合、クロスポイント操作時と同様にブザーが吹鳴します。

(4) 入力信号モニター機能

入力ソースボタンのバックライトを消灯して入力信号が無くなったことを伝え、対応する出力ボタンも消灯します。 出力保持モードでは設定により、無信号時の出力ボタンを消灯と点滅から選択できます。 出力ボタンを押しながら、パネルロックスイッチをONにすると、入力信号モニター、入力INHIBIT設定モードに入り ます。出力ボタンを押すごとに点灯と点滅が切り変わります。

- 点灯 … 無信号の時に消灯します (出荷時設定)。
- 点滅 … 無信号の時に点滅します。 ※<u>点滅は出力保持モードの時に有効になります。</u> 最後に、パネルロックスイッチをOFFにして、設定完了します。

この設定はパネルの不揮発性メモリに記録されますで、電源を切っても保持されます。

(5) 入力INHIBIT設定

出カチャンネルごとに入力ソースボタンの操作無効/有効の切り替えができます。指定した入力ソースボタンの操 作を抑制できます。誤って他系統の入力を選択するのを防ぎます。

出力ボタンを押しながら、パネルロックスイッチをONにすると、入力信号モニター、入力INHIBIT設定モードに入り ます。入力ソースボタンを押すごとに点滅と消灯が切り変わります。

点滅(OFF) … 入力ソースボタンの操作を有効にします。

消灯(ON) … 入力ソースボタンの操作を無効にします。

他の出力ボタンを押すと、設定するチャンネルが切り替わります。

最後に、パネルロックスイッチをOFFにして、設定完了します。INHIBITがONになっている入力ソースボタンは、ビットマップを表示した状態で、消灯します。

この設定はパネルの不揮発性メモリに記録されますで、電源を切っても保持されます。

(6) 電源投入時設定

入カページボタン、入カソースボタンを押しながら、電源を投入すると、パネル単体の各種設定ができます。設定 が完了すると、1秒間ブザーが鳴りますので、ボタンを離してください。その後、パネルは接続動作に入ります。各 入カページボタン、入カソースボタンに割り当てられている機能は以下の通りです。

入力ページボタン	設定値
•	BNCケーブル接続モード
•	ネットワーク接続モード

入力ソースボタン	設定値
1	出力保持モードOFF
2	出力保持モードON
3	操作時BEEP音ON
4	操作時BEEP音OFF
5	未使用
6	未使用
7	入力INHIBIT設定クリア
8	工場出荷時設定
9	保守用
10	起動時表示ボタンページ切り替え

この設定はパネルの不揮発性メモリに記録されますで、電源を切っても保持されます。

※工場出荷時設定:

設定の詳細は【4.操作方法(9)工場出荷時設定について】を参照してください。

※起動時表示ボタンページ設定

起動時のボタンページを設定します。前回電源断時のページ表示と常にページ1を表示を交互に切り替 えます。前回電源断時のページ表示はペアリングの変更などを行った場合はページ1を表示します。 (7) MTX-70P-NWのネットワーク設定について

ネットワークの設定は基本的にMTX-70P-NW内蔵のwebサーバーを使用してwebブラウザ(google chrome推奨)で 行います。

MTX-70P-NWがネットワーク接続モードで起動している事を確認しネットワーク設定画面を開きます。 工場出荷時設定の設定画面のURLは「http://192.168.1.1」です。

MTX-70P HTML SERVER	× +		\sim	-	(×
← → C ③ 192.168.1.	1			*		:
МТХ-70Р НТМІ	ネットワーク] 設定				
SERVER	項目	設定				
メインメニュー	ローカルIPアドレス	192 : 168 : 1 : 1				
ハーンハニエ 	サブネットマスク	255 : 255 : 255 : 0				
<u>コントロールモジュール</u>	デフォルトゲートウェイ					
<u>堅生</u> 	PHY MODE	AUTO 変更無し 🗸				
HOME PAGE	COMM NAME	VIDEOTRON				
	MACアドレス	00 : 0E : 88 : 00 : 00 : 00				
	設定	再読込				

図4.1 ネットワーク設定

ネットワーク設定ではMTX-70P-NW自体の設定を行います。ローカルIPアドレス、サブネットマスク、デフォルト ケートウェイ、PHY MODE、コミュニティ名が設定できます。

これらの設定を変更した場合は設定を有効にするためMTX-70P-NWの電源を入れなおしてください。

また、ローカルIPアドレスを変更すると、次回起動後のURLが変わりますので適宜置き換えてください。

なおローカルIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに関してはMTX-70P-NW本体でも確認、修正することが出来ます。【4.操作方法 (8)簡易メニューについて】の章を参照してください。

MTX-70P HTML SERVER	× +	∨ – □ ×
← → C ⊙ 192.168.1.	1	* 🛙 🏝 🗄
MTX-70P HTML	コントロールモ	ジュール設定
SERVER	項目	設定
	コントロールモジュール	MTX-70H-7272 変更無し V
	メインコントロールモジュール	192 : 168 : 1 : 2 SLOT 1
<u>ニントロールモジュール</u>	サブ1コントロールモジュール	0 : 168 : 1 : 3 SLOT 1
<u>設</u> 止 	サブ2コントロールモジュール	0 : 168 : 1 : 4 SLOT 1
HOME PAGE	サブ3コントロールモジュール	0 : 168 : 1 : 5 SLOT 1
	設定	

図4.2 コントロールモジュール設定

コントロールモジュール設定では操作対象となるマトリックススイッチャーの設定を行います。

最大4台までの同一機種、設定のマトリックススイッチャーを設定し同一の操作を行うことが出来ます。

コントロールモジュールの機種名と最大4台までの同一コントロールモジュールを実装したVbus筐体のIPアドレスと スロット位置を設定します。

メインコントロールモジュールは必須でステータスやボタンビットマップ取得の対象となります。サブコントロールモ ジュールはメインコントロールモジュールと同様に動作しますが、ステータスの取得をしませんのでメインコント ロールモジュールと設定が異なっていたり、サブコントロールモジュール側で操作を行った場合、および通信エ ラーの発生時は動作が保証されません。

サブコントロールモジュールを使用しない場合はIPアドレスの最初のオクテットに0を指定してください。

メンテナンスではMTX-70P-NWのソフトウェアのバージョンが確認できます。

(8) 簡易メニューについて

MTX-70P-NWの接続モードの確認、IPアドレスの確認、設定などが行えます。出力ページボタンUP(▲)/DOWN(▼) を同時に約1秒押すと簡易メニューが起動します。

出力ボタン1に項目、2~5に設定が表示されます。出力ボタン6(EXIT)で簡易メニューを終了します。

簡易メニューでは現在の接続モード(BNCケーブル接続モード、ネットワーク接続モード)の確認と、IPアドレス、サブ ネットマスク、デフォルトゲートウェイの確認、設定が可能です。

出カボタン1がハイライトしているときは出カページボタンUP/DOWNで以上の項目を選択できます。IPアドレス群 (IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)設定は表示されている各オクテットのボタンを押し、ハイラ イトさせることにより出カページボタンUP/DOWNで設定値を変えることが出来ます。設定は即時反映され、簡易メ ニューを終了した場合や出力ボタン1または選択中のボタンを押して他の項目に移動した場合も有効です。IPアド レス群を変更した場合はMTX-70P-NWを再起動し設定を反映させてください。

ロックスイッチがONの場合IPアドレス群の変更はできません。

簡易メニューは10分間無操作の場合自動的に終了します。

(9) カスタム入力ソースボタンページについて

入力ソースボタンの並びを任意に変更した入力ソースボタンページを最大9ページまで作成できます。

入力ページボタンLEFT(•)/RIGHT(▶)および出力ページボタンUP(▲)/DOWN(▼)を同時に約3秒押すと入力、出力ページボタンが点滅しカスタム入力ソースボタンページの作成/編集が行えます。

出カページボタンUP(▲)/DOWN(▼)でカスタム入カソースボタンページ(C.1~C.9)を選択し、入カソースボタン ページに割り当てたい、または割り当てを変更したい同じ番号の出力ボタンを約1秒押します。出力ボタンが点滅し、 割り当てる入力ソースボタンを押すと入力ソースボタンの割り当て、割り当て変更が行えます。割り当てを解除する 場合は点滅している出力ボタンを約1秒押します。この作業を繰り返してカスタム入力ソースボタンページの作成/ 編集を行います。

作成/編集が完了したら入力ページボタンLEFT(◀)/RIGHT(▶)および出力ページボタンUP(▲)/DOWN(▼)を同時に 約1秒押して作成/編集を終了します。

クロスポイントの切り替え時は入力ページボタンでP.1⇔P.2⇔P.3…P.8(機種、設定により異なります)⇔C.1⇔C.2… C.9と入力ソースボタンページが選択できます。C.1~C.9は有効な入力ソースボタンが無いページはスキップされ ます。

またC1~C9のカスタム入力ソースボタンページが増加することにより「表4.1 対応するマトリックススイッチャーと 設定による入出力、設定可能プリセット数」の設定可能プリセット数の制限を解除することが可能です。 (10) 工場出荷時設定について

入カソースボタン8を押しながら電源を投入すると工場出荷時設定を行います。電源投入後設定を有効にするため 再度電源を入れなおしてください。

設定内容は以下を参照してください。

項目	設定値
接続モード	ネットワーク接続モード
出力保持モード	OFF
操作時BEEP音	ON
入力INHIBIT	すべてOFF
カスタム入力ソースボタンページ	すべて削除
起動時表示ボタンページ	ページ1
ローカルIPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
PHY MODE	AUTO
COMM NAME	VIDEOTRON
コントロールモジュール	MTX-70H-7272
メインコントロールモジュール	192.168.1.2 SLOT=1
サブ1コントロールモジュール	0.168.1.3 SLOT=1
サブ2コントロールモジュール	0.168.1.4 SLOT=1
サブ3コントロールモジュール	0.168.1.5 SLOT=1

5. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

- 現象 電源が入らない!
- 原因 ・本体背面の電源スイッチはON側になっていますか?
 ・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか?
 ・本体のヒューズは切れていませんか?
 →もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。
- 現象 STATSランプが赤色点滅している!
- 原因 ・マトリックススイッチャーとの接続、設定は正しいですか? →MTX-70P-NWのネットワーク設定、コントロールモジュール設定、Vbus筐体の設定を確認してください。
- 現象 入力ソースボタンが効かない!
- 原因
 ・出力保持モード時、選択中の出力ボタンがパネル上に存在しますか?
 →選択されている出力ボタンが出力ボタンページの切り替えによりパネル上に存在しない場合、入力ソースボタンは無効です。選択されている出力ボタンをパネル上に表示するか現在表示している出力ページで新たに出力ボタンを選択してください。
- 現象 SNMP制御が効かない!
- 原因 ・マトリックススイッチャーの設定メニュー"SNMP"は"DISABLE"の設定になっていませんか? →"REMOTE"または"LOCAL"に設定されていて有効になっていることを確認してください。

・ご使用しているLANケーブルはクロスケーブルですか? →ハブを介さないでVbus筐体と直接LANケーブルで接続する場合はクロスケーブルを使用してください。

・Vbus70シリーズ筐体、およびSNMP制御アプリケーションのコミュニティ名の設定は正しいですか? →コミュニティ名の工場出荷時設定は"VIDEOTRON"です。適切なコミュニティ名を設定してください。

・Vbus70シリーズ筐体のIPアドレスの設定は正しいですか? →Vbus70シリーズ筐体の取扱説明書を参照し、IPアドレスを確認してください。

6.仕様

1.機 能

MTX-70P-NW】	
クロスポイント設定	クロスポイントの切り換え方法は下記の四通りあります。 1. 入力ソースを選択してから、出力先のチャンネルを選択する。 2. 出力先のチャンネルを選択してから入力ソースを選択する。 3. 出力先のチャンネルを押しながら入力ソースを連続して選択する。 4. 出力保持モードで、入力ソースを連続して選択する。
REMOTE/LOCAL切り換え	 出力チャンネル毎にリモート/ローカルの設定ができます。 スイッチの操作で、下記の四通りの設定が可能です。 1. REMOTE ON、LOCAL OFF リモート制御のみで手動制御は不可です。 2. REMOTE OFF、LOCAL ON 手動制御のみで、RS-422 によるリモート制御は禁止します。 3. REMOTE ON、LOCAL ON リモート制御、手動制御ともに有効です。 4. REMOTE OFF、LOCAL OFF リモート制御、手動制御ともに禁止です。変更禁止設定です。

STATUSランプ	マトリックススイッチャーと接続して、操作可能状態の時緑色に点灯しま す。操作不能の時、赤色点滅します。
LOCKスイッチ	MTX-70P-NW の操作を禁止にします。
文字表示設定	デフォルトで入力ソースボタンに 1~72 の数字(入力ページボタンで切り替 えます)が表示されますので、工場出荷状態でもご使用頂けます。ボタンエ ディットでスイッチの表示をカスタマイズすることで操作性が向上します。漢 字は 2 行表示で最大 8 文字。英数半角では、16~18 文字程度まで表示可 能です。
ボタン発光色設定	ボタンの発光色は、ボタンエディットを使用してカスタマイズできます。ボタ ンの発光色の表示方法は二通りあります。 1. 入力チャンネル毎に発光色を指定する方法 入力チャンネル毎に発光色を指定した場合は、その入力チャンネル を選択している出力チャンネルにも発光色が反映されます。 2. 出力チャンネル毎に発光色を指定する方法 出力チャンネル毎に発光色を指定した場合は、クロスポイントが変化 しても入力、出力チャンネルの発光色は変化しません。
入力INHIBIT設定	指定した入力ソースボタンの操作を抑制できます。誤って他系統の入力を 選択するのを防ぎます。
入力信 号モ ニター機能	ボタンのバックライトを消灯して入力信号が無くなったことを伝えます。選択 されている出力ボタンは点滅します。
プリセットの切り替え	最大 30 種類のプリセットパターンを切り替えることができます。切り替え可 能なプリセットはマトリックススイッチャーの機種と設定により異なります。

2.定格

(MTX-70P-NW)	
外部 I/F	
· PANEL IN	2Vp-p/75Ω、BNC 1系統
· PANEL OUT	2Vp-p/75Ω、BNC 1系統
• Ethernet	10/100BASE-T、RJ45 1系統
動作温度	0∼40°C
動作湿度	20~80%RH(ただし結露なきこと)
電源	AC100~240V±10%、50/60Hz
消費電力	10VA (5V,2A)
質量	2.5kg
外形寸法	480(W)×88(H)×87(D)mm(突起物含まず)

3.性 能

(MTX-70P-NW)	
外部 I/F	
· PANEL IN	100m/3C2V
· PANEL OUT	100m/3C2V ※エマージェンシーバイパス機能は機械リレーを使用している関係で、 連続して複数のパネルの電源が同時に切れた場合の動作保障は 致しかねます。

7. 外形図

[MTX-70P-NW]



本書に記載している商標

Microsoft[®]、Windows[®]、および Windows 7[®]、Windows 8.1[®]、Windows 10[®]は、Microsoft Corporation の 米国および他の国における登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。



お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。
 本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
 大阪営業所 TEL 06-6195-8741
 ビデオトロン株式会社 E-Mail:sales@videotron.co.jp
 本社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
 大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

נדארם>webשזר> https://www.videotron.co.jp 102146R01

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。